



アバン仙台 Jr. Youth News 第23回 2016年 7月号

U-13 3ヶ月の活動、リーグから感じること



1年生選手・保護者の皆さん、あっという間の3ヶ月が経ちました。私がチームを見て感じるのには仲がよいこと、みんなサッカーが好きなことが伝わってくる、とてもいいチームです。ただ、これから選手たちに求めたいことは精神面での成長。もっと選手間でサッカーについて求め合うことです。最近ようやく互いに要求し合うようになってきましたが、まだまだ足りていないのが現状です。気持ちを前面に出して、声を出し戦う選手とそうでない選手の差が大きいです。このような温度差があればチームとしてのまとまりが生まれません。また、ボールを奪われたら必死に奪い返しに行くなど、シンプルな行動でワンプレーごとに熱を感じるサッカーをしていけるよう取り組んでいきます。

強い意志を持つべき課題

中学生全体を通して技術面の課題は、止める・蹴る、運ぶ・仕掛ける、ヘディングなどの基礎。そして、しっかり生かして、良く観ながらプレーすること。それはチームでも共通して課題にしている奪った後のプレーの精度を追求することです。身体的なことでは自主練で走るのもいいけど、もっと試合や練習の中で走ることに力を注いでほしいです。

以上のことを大切にして、是非ともサッカーをもっと磨くこと。最後に練習は試合のようにプレーする。そこを頑張ってください。

感動秘話～第1話～

今回は、3年生の高橋拓実くん(中3)です。拓実君は小学4年生からスクール生として活動をスタートしました。とにかくサッカーと走るのが好きな選手。初めて拓実くんのプレーを見たとき、決して器用という印象ではな本人も、「ついていけるかな」という思いでいたそうです。



その後、SCとして活動を始めるわけですが、当初はリフティングが30回程度。現在は600回くらい。とにかくアバンのサッカーが大好きと言う拓実くん、いつも一生懸命、雨の日も誰より生き生きと練習します。拓実くんは、自分には「走る」しかない献身的に走ることでゴールを量産してきました。ジュニアユースに入ってから通算146ゴール。「直向き」「努力」「汗」「走る姿」「献身さ」の似合う選手です。

これから始まる後期リーグやその後の活動でもきっと素晴らしい活躍してくれる選手。拓実くんの走る姿と、ゴールを量産するであろう姿から目を離さずに注目してください!!

アバンツァーレ活動歴

アバン活動歴の長い及川大翔くん(中3)のこれまでの活動

大翔くんのプレーの特徴

滑らかかつ高速のボールタッチ
ギリギリの局面で出るアイデア



僕がアバンに入ったのは年中の時、今年で11年目になります。選手としての活動を始めたのは、小学1年生の時でした。3年生あたりから、SCとして大会に出場したり遠征に行くようになり、サッカーだけでなく自立する事や礼儀の大切さを学ぶ事が出来ました。

中学生となり、サッカーの中でフィジカルがとても重要な事に試合経験から気付きました。それを気づかせてくれたのは、藤の犬怪我とリハビリ生活です。とても辛い時期で、サッカーができないことよりもチームの仲間にも迷惑をかけてしまっていることが苦しかったです。でも、チームメイトが病院へお見舞いに来てくれたり、励ましてくれたことは大きな支えとなりました。仲間の思いを感じ、その時から自分のサッカーへの姿勢もこれまでとは変わってきました。今の自分は、基本的なプレーや判断のスピードが課題と感じています。自分はアバンで活躍できるようにこれから頑張ります。

みんなが一目置く選手に成長した大翔くん
そのテクニックがより輝くことを期待します



5・6月 報告メール皆勤賞

1年生のみなさん、保護者のみなさん、あつという間に3ヶ月が経ちました。今回は5月から一度も報告を休まず取り組んだ皆勤賞の浅見玲太くんを紹介します。玲太くんは、普段からマイペースな選手でありチームを和ませてくれるキャラクターです。コーチも玲太くんの雰囲気になれます。もちろんサッカー一面でも成長が楽しみな選手です。

浅見玲太くんからのコメント

僕はアバンに入る前はやるべきことがあっても後回しにすることが多かったです。でも、報告メールを始めてからやらなければならない事を後回しにすることが無くなりました。これからも欠かすことなく報告メールとサッカーノートも続けていきたいです。



News 宮城野テクニカルスクール

このたび、新たにテクニカルスクール宮城野校がスタートしました。もともとジュニアスクールだったのですが、テクニカルスクールとして活動することとなりました。現在は、小学生6名、中学生6名で活動しています。これから少しずつですが、仲間が増えることを期待しながら皆で練習に励んでいます。

会場：オレンジフィールド

住所：宮城野区鶴巻1-2-2

練習日：毎週火曜日

時間：18:00～19:30



お母さんからのコメント

まだまだ幼さ残る4月。クラブに入ることを了承したものの本当に勉強・部活・クラブを両立できるのかと不安なところがありました。しかし、学校の休み時間を利用して宿題を終わらせるなど、自分なりに時間をやりくりしながらサッカーに取り組んできた3ヶ月。小学校のころには見られない姿でした。「文武両道」とは決して簡単なことではないかもしれませんが、自らやるよと決めたことは最後までやりとげてほしいと思うと共に、アバンで出会えた仲間を大切に、実りあるサッカー生活を送ってくれることを願っております。

畠山コーチ Happy Birthday

甘〜い、ケーキと美味しい料理
ご馳走してもらいました。

6月12日(日)

まだまだバリバリ
食欲旺盛な36歳



3ヶ月経って選手と保護者から

●菊地 翼くん

入団して間もなくは、サッカーノートや報告メールをおろそかにしてしまっただらしな生活をしていましたけど、最近はサッカーノートや報告メールをおろそかにせずに生活をする事が出来ました。

●お父さんからのコメント

ジュニアユースに入って、3ヶ月が経ちましたがサッカーに取り組む姿勢が徐々に変わった気がします。当初は、サッカーノートや報告メールをする事も忘れがちで、学校の宿題もある中、親からの声掛けでやり始める状態でした。それが、最近は練習へ行く前に宿題を終わらせ、帰ってきたらサッカーノートと報告メールをするように自分なりに習慣づけてきてきたみたいです。これからも継続して欲しいと思います。

●富永 澤雅くん

この3ヶ月間で、小学生から苦手だった足元のコントロールがアバンで入ってから上達してきました。今後は試合で周りを観てプレーできるよう練習していきます。

●お父さんからのコメント

3ヶ月経った現在、率直に感じてるのが報告メール、サッカーノートへの記載です。今まで取り組んだ事の無い習慣だったので最初の1ヶ月は、こちらから促さないと中々自分からはやりませんでした。しかしここ数ヶ月は言われる前に取り組む様になりました。本人は今、慣れないポジションで悪戦苦闘してると思います。頭の中では理解している様ですが、実際に動けてない様に見えます。頑張ってもらいたいと思います。

先日、畠山コーチは誕生日でした。3年生のほとんどの選手はジュニア時代からの付き合いなので大丈夫ですよ？(笑)コーチは12日の夜にアバン仙台のコーチと事務の佐藤さんに誕生日をお祝いしてもらいました。お祝いメッセージも双子の弟、総監督や卒業生からもらいました。アバンツァーレに入ってから8年、もう36歳になりました。仙台地区では最長のコーチ歴です。(年齢も・・・)。

さて、会は楽しいものでした。他のコーチとの会話に少しジェネレーションギャップもありましたが、色んな話ができていい時間を過ごすことができました。40代に近づいてもまだまだ勉強です。これからも精進していきたいと思えます。

6期生 室内練習場訪問

6月12日(日)、室内練習場に3月に卒業した6期生が訪問してくれました。訪問の理由は、アバンのロゴ入り作戦版をクラブに寄贈するためでした。

高校生活も大変な中、来られない選手もいましたが、写真の6名が訪問し、ジュニアユースの様子も気にかけてくれました。大事に使っていきます。



THANK YOU

前期の日程が落ち着いた今、平日・週末の活動で2・3年生は守備の改善を主に行っています。各主要な大会日程のなかでも課題点としてあげており、各選手の中でも守備については問題視しているところではあります。

主な取り組みを具体的にいえばファーストDFの当たり方とセカンドDFの立ち位置とそこからボールが移動してからの動きについてです。

●ファーストDFは前に運ばせないようにプレッシャー

●セカンドDFはファーストとの間にボールが通らないように斜めに構える（ダイアゴナルのポジションという）

以上の2点が徹底して改善を行うポイントです。

しかし、現状はファーストDFが横から当たりに行ってしまう、セカンドDFもダイアゴナルのポジションを取らずにプレーしてしまい、ゴールを守るということに苦戦しています。

ここが改善できればボールを奪う機会が格段に増え、攻撃の回数が増えます。それはすなわち、勝利の可能性が高まるという事です。自分たちが苦しんでいる原因に目を向け、改善に力を注ぎましょう。これが出来るかが大きな鍵となります。

意識しないとできないことではあります、意識すれば誰にでもできることです。一人ひとりが努力しましょう。